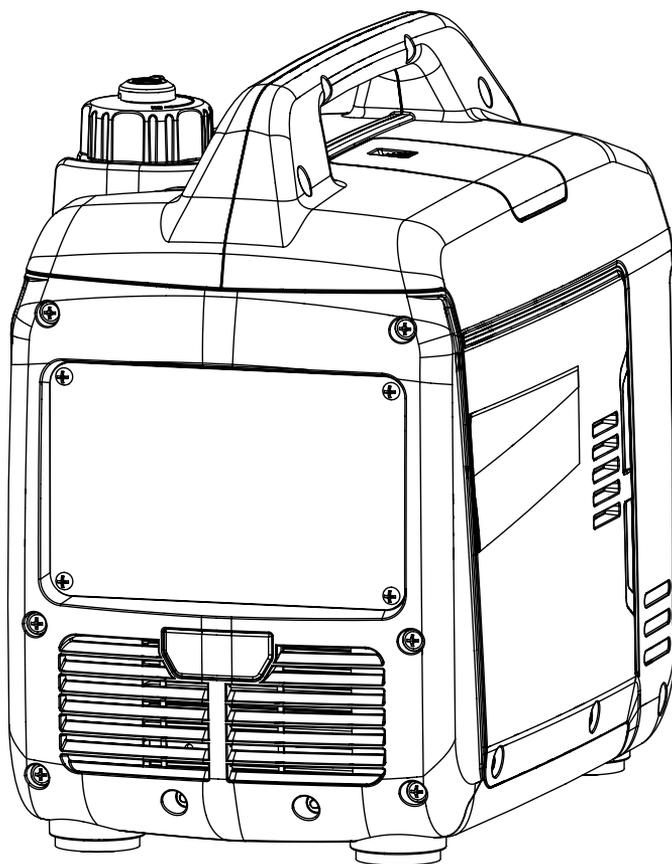


インバーター発電機  
**PG 1100 is**

取扱説明書 (保証書付)



**POWERTECH**  
ELECTRIC POWER TECHNOLOGY



はじめに	4
1. 安全上の注意	5
2. 仕様表	8
3. 用途	9
4. 各部の名称と機能	10
5. 運転方法	12
5.1 始動前の準備	12
5.2 始動	15
5.3 停止	16
6. 発電機の操作	17
7. 点検・整備	19
8. 発電機の輸送・保管（長期保管）	24
9. 故障時の対応	25
10. トラブルシューティング	26
10.1 エンジンが始動しない	26
10.2 発電機に接続した電気機器が使用できない	27
11. 電気配線図	28
12. お問い合わせ窓口	29
12.1 お客様お問い合わせ窓口のご案内	29
12.2 保証内容	31
13. 保証書	32

## はじめに

このたびは、PG1100is インバーター発電機をご購入いただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本機を安全かつ正しく取り扱う方法をまとめています。取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、**ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。**

取扱説明書（保証書付）はいつでもご覧いただけるように大切に保管してください。

安全にお使いいただくために、この取扱説明書では、注意事項を下記のように区分しています。



### 警告

使用において説明書に従わなかった場合、怪我や死亡事故に至るおそれがある場合に表示しています。ご不明な点がある場合は販売店、またはパワーテックにご相談ください。



### 危険

使用において説明書に従わなかった場合、怪我や本機及び使用機器に物的損傷を与えるおそれがある場合に表示しています。ご不明な点がある場合は販売店、またはパワーテックにご相談ください。



### 注意

本機の保護と、本機の性能を十分に発揮させるための注意事項や人身事故に至る可能性があることを示されています。

※いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



### 注意

- 本機は出荷時にエンジンオイルが入っておりませんので、ご使用になる前に必ず注油してください。
- 使用前には必ず発電機を点検し、必要ならば清掃、修理をおこなってください。また発電機の燃料タンクには火気を近づけないようにしてください。
- 本発電機を正しく安全にご使用いただくために、取扱説明書を良くお読みになりご理解ください。ご不明な点は販売店、またはパワーテックまでお問い合わせください。発電機を正しく使用していただき、末永く愛用していただきますようお願い申し上げます。
- 弊社では、あらゆる環境下での本機使用で起こりうるすべての危険を予測することはできず、したがって本書に記載されている注意事項はそのすべてを網羅したものではありません。お客様の責任において、十分な注意を払って本機をご使用いただきますようお願いいたします。

※取扱説明書の内容は予告無く変更する場合があります。

製品の仕様等の変更により内容が一部異なっている場合がありますのでご了承ください。

## 1. 安全上の注意

### 警告

#### 排気ガス中毒

- エンジンの排気ガス中には、人体に有害な成分が含まれていますので、室内、車庫、トンネルなどの換気の悪い所では運転しないでください。密閉された場所でエンジンを作動されると短時間で意識不明や死亡に至る危険があります。

警告	
発電機を密閉された空間や仕切られた空間で絶対に使用しないこと。室内などの密閉された空間で発電機を使用すると一酸化炭素によって重大な事故が発生するおそれがあります。	
 ドアや窓が開いていても、家やガレージの中では使わないでください。	 窓、ドア、通気口から離れたところでのみ使ってください。
安全のため、この取扱説明書を事前に読んでください。	

### 危険

#### 感電

- 本機を濡れた手で操作しないでください。
- 出力コンセントにピンや、針金などの金属物を入れないでください。
- 点検・整備を行う時は、必ずエンジンを停止してください。
- 本機に水をかけたり、雨中での使用はしないでください。
- 運転中は点火プラグ・プラグキャップには触れないでください。
- 発電機を使用する前に発電機と発電機に接続して使用する電気機器や延長コードに問題はないかよく確認してください。
- 発電機を建物の給電装置などには絶対に接続しないようにしてください。給電切替装置に発電機を接続する場合は法令に基づく資格を持つ技術者が法令に基づいて作業する必要があります。
- 延長コードを使用する場合は電線太さが十分なコードを使用するようにしてください。



## 危険

### 火災

- 燃料（ガソリン）は高い引火性があります。給油するときは、必ずエンジンを停止し、換気の良い場所で行ってください。
- 給油の際はタバコを吸ったり、炎や火花などの火気を絶対に近づけないでください。
- 衣類や人体に溜まった静電気の火花が原因で火災が起きる恐れもありますので、静電気には十分注意してください。
- 燃料はこぼさないように注意してください。燃料タンクの給油口にある規定レベルマーク以上に給油しないでください。燃料がこぼれた場合は、きれいにふきとってください。
- マフラーや排気ガスなど高温となるため、引火性のある物（燃料・ガス・塗料など）や燃えやすい物は、本機に近づけないでください。
- 本機は壁などの障害物から 1m 以上離し、水平な場所で運転してください。
- 保管用カバーなどをかけるときは、本機が冷えてから行ってください。
- 電力会社からの電気配線には接続しないでください。
- 破損したコンセント、コンセントプラグは使用しないでください。
- 燃料の点検や給油、抜き取り、燃料フィルターの清掃など、燃料を扱う時は必ずエンジンを停止し、絶対に火気を近づけないでください。またエンジンが冷えてから行ってください。
- 本機は固く水平な場所で使用してください。傾いたり転倒すると燃料がキャブレターや燃料タンクからこぼれて火災や事故の原因になります。



## 危険

### やけど

- 運転中や停止直後は、エンジンやマフラーが高温になっていますので触れないでください。
- エンジンオイルの点検・交換を行う時は、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。運転中にオイルゲージを開けると、高温のオイルが吹き出します。



## 注意

### 使用時

- 必ず屋外で使用してください。
- 無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
- 本機が移動しないよう、水平で安定した場所に設置してください。
- エンジンを始動させる時は、使用機器をコンセントから外してください。
- 運転中本機を移動させないでください。
- 本機をダンボールなどで囲わないでください。
- 運転中本機の上に物を置かないでください。
- 回転部に棒・針金・ひもなどを入れないでください。
- 改造や、部品をはずしたままで運転しないでください。(保証の適用外になります)
- 点検・整備を行う時は、必ずエンジンを停止してください。
- 長い接続ケーブルを使用すると、ケーブル内の抵抗が大きくなり出力が低下します。そのまま電気機器を接続して使用すると機器の故障の要因になりますので注意してください。
- 燃料を発電機にいったまま運搬しないでください。振動や衝撃により、燃料がこぼれる恐れがあります。



## 注意

### 保管時

- 車内や荷台に積載したまま、また直射日光が当たる場所や高温になる場所に保管しないでください。
- 本機を長期保管するときは、燃料が自然劣化し再起動が困難になる場合がありますので燃料タンク、キャブレター内から燃料を抜いてください。
- 燃料タンクの燃料を抜くときは、タンクの給油口から市販のガソリン用ポンプなどで抜いてください。
- 抜き取った燃料は、ガソリン携行缶(「KHK マーク」または「UN マーク」の付いた消防法令の安全基準を満たしたもの)に入れて保管してください。
- キャブレター内の燃料はエアクリーナーカバーを外しキャブレター下部のドレンボルトをゆるめると排出されます。受け皿で適切な処理をしてください。

## 2. 仕様表

名称	PG1100is
形式	多極回転界磁形
電圧調整方式	正弦波インバータ式
励磁方式	自己励磁式
力率	1.0
交流周波数	50Hz/60Hz (切替式)
定格出力	1.1kVA
定格電圧	100V
定格電流	11A
シガーソケット	12V,5A
USB	5V/1.0/2.1A
交流コンセント	15A × 2個 ※ 2、※ 3
交流過電流保護装置	インバーターユニット
直流シガーコンセント	1個
直流過電流保護装置	直流プロテクタ
エンジン種類	空冷 4 ストロークガソリンエンジン
点火プラグ	NGK CR6HSA または同等品
プラグキャップ	0.6-0.7mm
エアクリーナー方式	半湿式 (ウレタンフォーム)
総排気量	60cc
使用燃料	無鉛ガソリン (自動車用レギュラーガソリン)
エンジンオイル	SE 級以上の 4 ストロークガソリンエンジンオイル
エンジンオイル規定量	0.35 リットル
始動方式	リコイル式
燃料タンク容量 (赤レベル)	2.5 リットル
定格連続運転時間 (赤レベル)	約 3 時間
1/4 負荷連続運転時間 (赤レベル)	約 7 時間
乾燥重量	13kg
本体寸法 (mm)	D430 × W252 × H400
騒音レベル	68dB (7m)

※ 1 この仕様表は改良のため予告なしに変更することがあります。

※ 2 AC100V 合計 11A まで

※ 3 AC 接続機器の合計消費電力は定格出力内で使用してください。

### 3. 用途

- \* 電動工具の電源
- \* 照明器具の電源
- \* 家電機器の電源

#### 警告

\* 医療機器には使用しないでください。

- \* 電動工具、汎用モーター等起動電流の大きい製品、または機器の種類によっては使用出来ない場合があります。
- \* 使用する機器によっては発電機とのマッチング上、不具合が発生する場合があります。

#### 注意

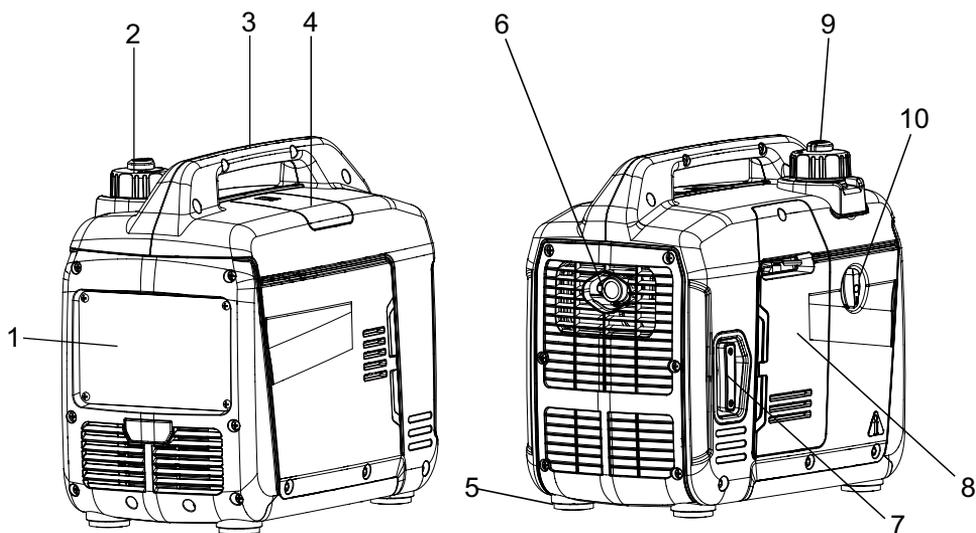
##### 使用時

- 初期始動時にエンジンのかかりが悪い場合があります  
初めての始動時、もしくは一度燃料を抜いた状態からの始動時にはエンジンのキャブレター内に十分な燃料が供給されていないため、スターターを数回引かないと始動しません。燃料タンク内に十分に燃料が入っていることを確認のうえ、始動するまでスターターを繰り返し引くようにしてください。（始動しない場合は本マニュアルの「P15 5.2 始動」の部分をよく読んで各種スイッチ類の位置およびオイルや燃料の量などを確認してください）
- 発電機本体が振動により移動する場合があります  
発電機本体を鉄板、コンクリートフロアなどの平滑な場所に置いて使用する場合、発電機自身の振動により、本体が移動することがあります。その場合、転倒や滑落の危険性があるのでストッパーなどを使って発電機の移動防止策をおこなってください。

#### 警告

- 発電機をすぐに停止させる方法や、操作方法を必ず理解しておいてください。また、適切な説明無しで他の人に発電機を操作させないでください。
- 発電機運転時は発電機に子供やペットなどを近づけないでください。

## 4. 各部の名称と機能

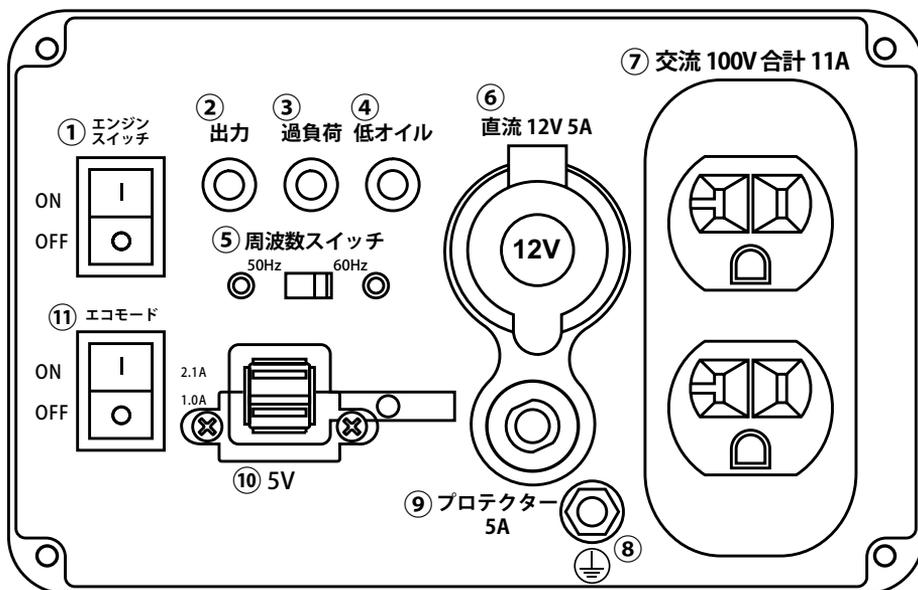


- |                |   |
|----------------|---|
| 1. コントロールパネル   | 6. マフラー / スパークアレスター                     |
| 2. 燃料キャップ      | 7. リコイルスターター                            |
| 3. キャリングハンドル   | 8. メンテナンスカバー<br>オイル給油、キャブメンテ、エアクリーナーメンテ |
| 4. 点火プラグ補修用カバー | 9. 燃料キャップつまみ                            |
| 5. サポート脚       | 10. 燃料コック                               |

### 付属品

プラグレンチ、ドライバー、収納袋、ろうと

## コントロールパネル部



- ①. エンジンスイッチ：エンジン始動するためのスイッチです。エンジン始動時は ON に、エンジン停止する場合は OFF にする
- ②. 出力表示灯：正常運転で使用している場合は、出力表示灯（緑のランプ）が点灯し続けます。
- ③. 過負荷警告灯：電気機器を本機の定格出力以上に接続使用すると過負荷警告灯が点灯し、電気の供給が自動的に止まります。エンジンは自動的に止まりません。過負荷警告灯が点灯したら接続している電気機器を取り外した後、エンジンを停止させてください。再起動する場合は、エコモードが OFF の状態で、エンジンを再度起動してください。
- ④. オイル警告灯：エンジンオイル量が少なくなるとエンジンの焼き付きを防止するためオイルセンサーが働きオイル警告灯が点灯し、自動的にエンジンは止まります。
- ⑤. 周波数切り替えスイッチ：出荷時は 60Hz に設定しています。50Hz 地域で使用される場合は、50Hz にスイッチを合わせてください。
- ⑥. 直流シガーソケット：12V-5A 直流を供給できます。
- ⑦. 交流コンセント：合計 11A まで使用可能です。
- ⑧. アース端子：アース取り出し用端子。使用機器をアースしたときは、本機も必ずアースしてください。
- ⑨. プロテクター：出力復帰ボタンです。シガーソケット出力が過負荷となった場合、保護のため電気供給が止まります。負荷を外した後、このボタンを押し復帰させます

⑩. USB ポート：5V-1.0A/2.1A 直流を供給できます。

⑪. エコモードスイッチ：使用電気負荷が 50% 以下の場合、ON にすることでエンジン回転数を低く制御し燃料消費を節約することができます。使用機器の起動電力が大きい場合又は、電気負荷が 50% を超えて使用される場合、エコモードスイッチは OFF にしてください。直流電源を使用する場合もエコモードスイッチは OFF にしてください。

\* エンジンが自動停止したときは、「P12（1）エンジンオイルの給油」の項を参照してエンジンオイルの量を点検し、規定レベル（H）まで給油してください。

\* オイルセンサーは、オイルの劣化を検知することはできません。エンジンオイルは、「P20（1）エンジンオイルの交換」の項を参照して定期的に交換してください。

## 5. 運転方法

### 5.1 始動前の準備



注意

火災・やけど・けが

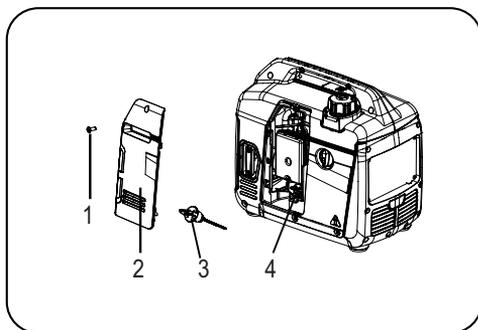
点検はエンジンが停止していること、エンジンが冷えていることを確認してから行ってください。また、絶対に火気に近づけないでください。

#### （1）エンジンオイルの給油

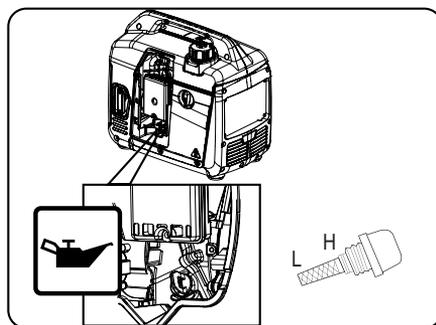
本機側面のメンテナンスカバーの取付ボルト（1）を外し、カバー（2）を取り外します。

本機オイルキャップ（3）を取り外すと、エンジンオイルの注入口（4）があります。

オイル量は、本機を水平に維持し、オイルキャップ（3）を注入口に差し込んだ状態で（ねじ込まないで）確認してください。始動前には、オイルを上限レベル（H）まで給油しておいてください。エンジンオイルが汚れているときは、エンジンオイルを交換してください。規定量のエンジンオイルを注入し、オイルキャップ（3）を締め付けます。



オイル容量：約 0.35 ℓ（規定量）



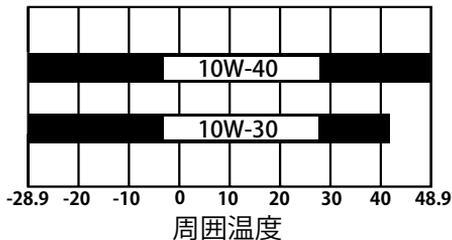
オイル量 0.35 ℓ 口元まで

**注意**

本機が傾いた状態では、オイル量を正確に確認することはできません。  
(オイルゲージにある文字「H」はオイル入れる上限レベルです、「L」はオイル入れる下限レベルです。)

使用エンジンオイル種別

エンジンオイルは、SE 級以上の SAE10W-30 または、SAE10W-40 を推奨します。



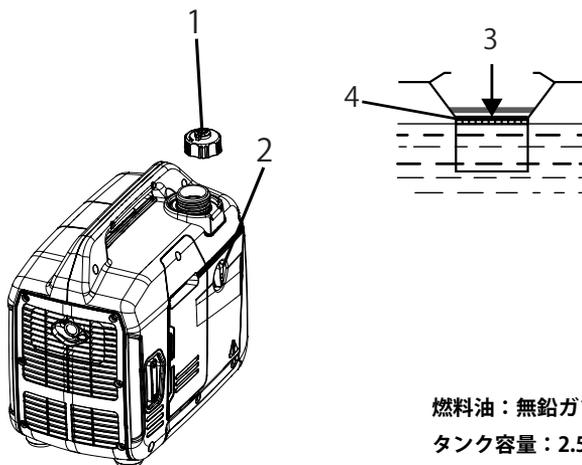
- はじめてご使用になる前に、エンジンオイルが規定量入っているか確認してください。
- エンジンオイルの給油は、発電機本体を水平な状態で行ってください。
- エンジンオイルを規定量給油するまでは、本機を始動しないでください。
- エンジンオイルを規定量以上に給油しないでください。

**警告**

- こぼれたエンジンオイルは、必ず拭き取ってください。
- オイルは定期的に変換してください。
- エンジンオイルは必ず指定されたエンジンオイルを使用してください。

## (2) 燃料の給油

燃料コック（2）を「OFF」にします。給油口のキャップ（1）を取り外し、装着してある燃料フィルター（3）を通して給油してください。燃料フィルターは汚れや損傷がないか定期的に点検してください。燃料は規定レベル（4）以上給油しないでください。



燃料油：無鉛ガソリン  
タンク容量：2.5ℓ

### ▲ 注意

#### 火災

- 身体に帯電した静電気を除去してから給油作業を行ってください。
- 絶対に火気を近づけないでください。
- 自動車用レギュラーガソリンを使用してください。（無鉛ガソリン）
- 長時間使用しなかった燃料は、新しい燃料に入れ換えてください。
- 燃料の中に水やゴミなどが入っていないことを確認してから給油してください。キャブレターの詰まりやエンジンの不調、あるいは燃料オーバーフローの原因となる恐れがあります。
- 必ず無鉛ガソリンを使用してください。有鉛ガソリンの使用はエンジン故障の原因になります。

## (3) 燃料もれの点検

### ▲ 注意

#### 火災

- 燃料配管接続部などからの燃料もれと、エンジンからのオイル漏れがないか点検してください。燃料もれの点検は、燃料コックを「ON」にして行い、点検後は必ず燃料コックを「OFF」にしてください。

※燃料もれがある場合は、絶対に使用せず修理してください。

## 5.2 始動

### ⚠ 危険

#### 排気ガス中毒

- エンジンの排気ガス中には、人体に有害な成分が含まれていますので、室内・車庫・トンネルなどの換気の悪い所では絶対に運転しないでください。

### ⚠ 注意

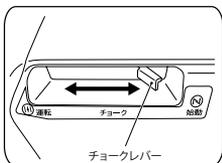
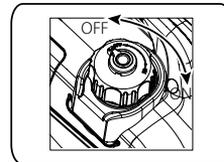
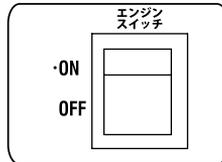
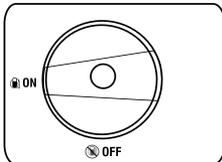
- 排気を通行人や民家などに向けしないでください。

### ⚠ 注意

#### 火災

- マフラーや排気ガスなどは高温となるため、引火性のあるもの（燃料・ガス・塗料など）や燃えやすいものは、本機に近づけないでください。
- 本機は壁などの障害物から1m以上離し、水平で安定した場所に設置してください。
- 始動前に電気機器を接続してないでください。もしくは確実に機器のスイッチを切ってください。

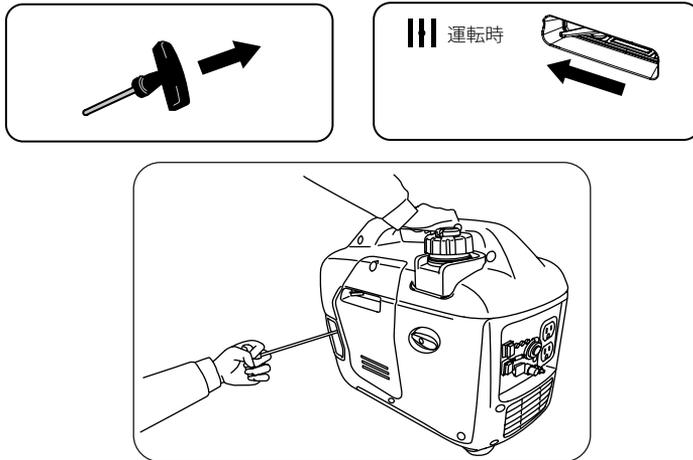
1. 燃料コックを ON に合わせます。
2. エンジンスイッチを「ON」、エコモードスイッチを「OFF」の位置にします。
3. チョークノブを「始動時」の位置まで引き出します。



※気温やエンジンの状態に合わせて、チョークレバーを「始動時」または「運転時」の位置にします。

- 「始動時」  
気温が低いときや、エンジンが冷えているとき
- 「運転時」  
気温が高いときや、すでに温まったエンジンを再始動するとき

4.本機側面のリコイルスターターハンドルを重たくなるところ（圧縮点）までゆっくりと引き、一度元に戻して一気に引きます。



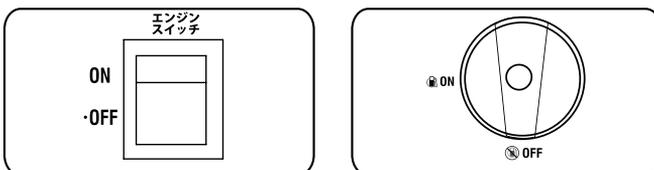
**▲ 注意**

- リコイルスターターハンドルはいっぱいには引ききらないでください。
- 引き終わったら手を放さずに、ゆっくりと戻してください。
- 急に戻すとけがの要因となる恐れがあります。
- チョークレバーを「始動」の位置で長時間エンジンを運転すると点火プラグがかぶり、エンジンが停止することがあります。エンジン始動後、エンジンの回転が安定したらチョークレバーを「運転時」にしてください。

5.エンジン回転数が安定したら、チョークレバーを「運転時」の位置にゆっくりと押し込んでください。

**5.3 停止**

- 1.使用電気機器の全てのスイッチをOFFにします。または接続を取り外しエコモードスイッチを「OFF」にします。
- 2.エンジンスイッチを「OFF」、燃料コックを「OFF」にします。



## 6. 発電機の操作

### 危険

#### 感電

- 本機を濡れた手で操作しないでください。
- 使用電気機器のスイッチが「OFF」になっているのを確認してからコンセントに電源プラグを差し込んでください。

### (1) 交流電流

エンジン始動後、出力ランプが緑点灯している事を確認してください。使用電気機器のスイッチが「OFF」になっているのを確認してからコンセントに電源プラグを差し込んでください。定格電流以内で使用してください。

### 注意

#### 使用機器の特性

- コンプレッサーや電動工具でモーターなどを使用する機器は、機器に書かれている定格消費電力より大きい起動電力を必要することがありますので、本機の定格出力では使用できない場合があります。お求めの販売店が弊社にご相談ください。

### (2) 直流電源（シガーコンセント）

エンジン始動後、出力コンセントから直流電源が取り出せます。定格出力は、12V-5A です。定格出力以下の電気機器であることを確認して接続してください。

### 注意

- 直流電源と交流電源を同時に使用する場合、交流出力は 11 A までにしてください。
- 直流電源を使用される場合はエコモードスイッチは「OFF」にしてください。

### (3) 直流電源（USB ポート）

接続機器への給電線用になります。定格出力は 5V-1.0A/2.1A です。

### 危険

#### 感電、火災

- USB ポートにほこりなどがたまっていないか、使用前に確認してください。ほこりがたまっていると発火や感電の原因になります。
- 充電を行わないときは、USB ケーブルを抜いてください。
- 機器、USB ケーブルの種類によっては、充電できない場合もあります。
- 本製品には、USB ケーブルは付属されておりません。

## 電気の使用できる範囲

本機を使用する前、総負荷が発電機の定格出力範囲以内であることを確認してください。  
定格出力範囲を超えて運転すると本機が破損する原因になります。

例：

使用電気器具 (AC)					
使用電気装置 (注)	1	0.8~0.95	0.4~0.75 (力率0.85)	12V/5A	5V/1.0-2.1A
PG1100is	1100W 以下	880W 以下	440W 以下	定格電圧 12V 定格電流 5A	定格電圧 5V 定格電流 1.0/2.1A

(注) 各電気器具の使用消費電力を表します。

### (4) 周囲条件

本機は下記の使用条件で使用してください。

これらの条件が満たせない場合は、故障や出力不足・耐久性の低下などの恐れがあります。

- ◆周囲温度：-5℃～40℃
- ◆相対湿度：80%以下
- ◆標高：1000 m以下

## 7. 点検・整備

### ⚠ 危険

#### 感電、火災、けが、やけど

- 必ずエンジンを停止してください。
- 絶対に火気を近づけないでください。
- エンジンの停止直後は、エンジンやマフラーが高温になっておりますので、エンジンが冷えてから行ってください。
- 本機を常に良好な状態で使用できるよう、次の表にしたがって定期的に点検・整備を行ってください。

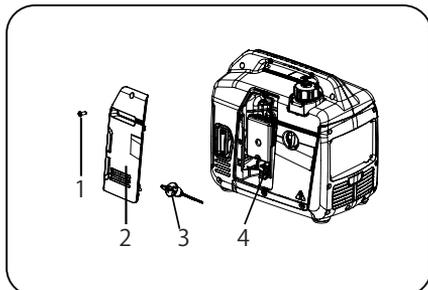
項目	始動時間前	20 時間ごと	50 時間ごと	100 時間ごと	500 時間ごと
1 各部の清掃・締付点検	○				
2 エンジンオイルの点検・給油	○				
3 エンジンオイルの交換			第 1 回目 (50 時間目)	第 2 回以後 ○	
4 燃料・オイル漏れの点検	○				
5 エアクリーナの清掃			○	○	
6 点火プラグの清掃・調整				○	

- \* 高温環境下や高い負荷がかかる状態で発電機を頻繁に使用する場合はエンジンオイルを 25 時間毎に交換してください。
- \* 発電機をほこりの多い場所や過酷な環境下で使用する場合はエアクリーナーを運転 10 時間毎に掃除し運転 25 時間毎に交換してください。

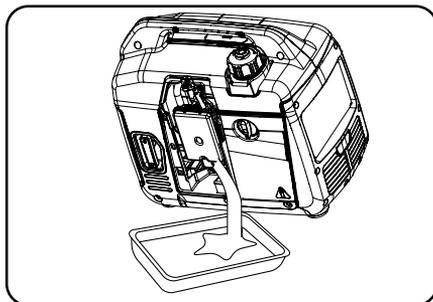
## (1) エンジンオイルの交換

初回	50 時間目
2 回目以降	100 時間ごと

1. 本機側面のメンテナンスカバーの取付ボルト (1) を外し、カバー (2) を取り外します。本機オイルゲージ (3) を取り外すと、エンジンオイルの注入口 (4) があります。



2. 機体を傾けてオイルを抜いてください。



### 警告

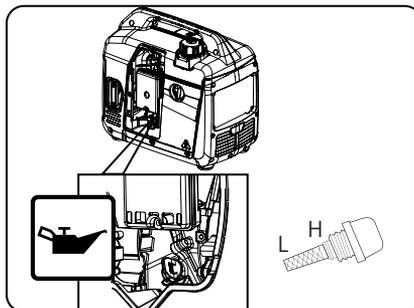
#### やけど

エンジンを停止してすぐにエンジンオイルを排出しないでください。オイルが高温になっていますので、やけどをしないよう十分に注意してください。エンジンオイルを交換するときはエンジンオイルが十分に冷えてから行ってください。

3. エンジンオイルを上限レベル「H」まで入れます。(約 0.35 l)

エンジンオイルは SE 級以上の SAE10W-30 または SAE10W-40 のものを使用してください。

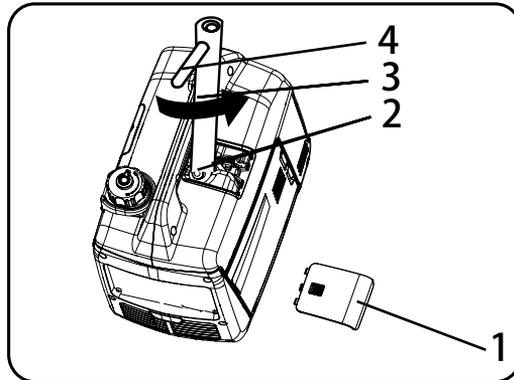
4. オイルゲージを締め付けます。
5. メンテナンスカバーを取り付けます。



## (2) 点火プラグの清掃と調整

初回	50 時間目
2回目以降	100 時間ごと

1. 点火プラグ補修用カバー（1）を外します。
2. 点火プラグのキャップ（2）を外します。
3. 付属品のプラグレンチ（3）とドライバー（4）を使用し、反時計方向に回して取り外します。

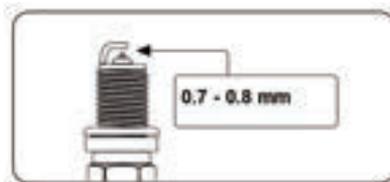


4. 点火プラグが汚れているときは、市販のプラグクリーナーやワイヤーブラシで汚れを落とします。
5. 電極すきまを必要に応じて 0.7mm ~ 0.8mm に調整します。
6. 点火プラグを取り付けます。



### 注意

点火プラグを交換する場合は「NGK CR6HSA」を使用してください。



点火プラグの締め付トルク：20.0N・m (2.0kgf・m、14.8lbf・ft)



### 注意

点火プラグを取り付ける時はトルクレンチを使用してください。

1/4 ~ 1/2 程、手で締め付け、プラグレンチで点火プラグを指定トルクまで締め付けます。

7. 点火プラグキャップ及びプラグメンテナンスカバーを取り付けます。

### (3) エアークリーナの清掃

清掃

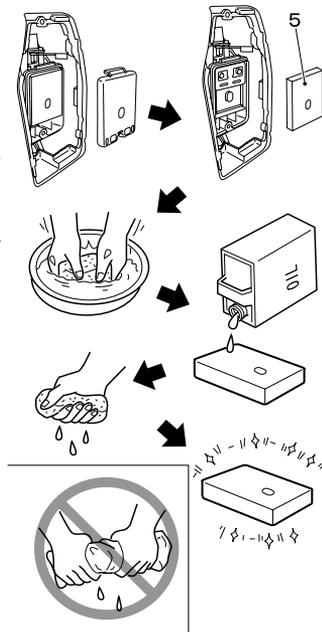
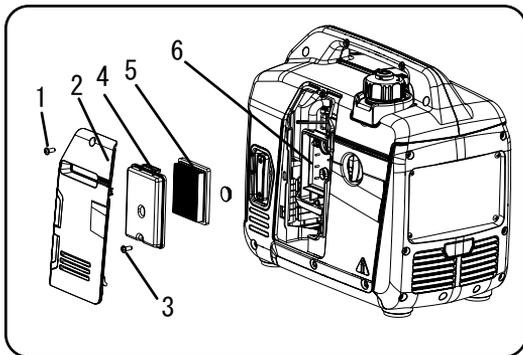
50 時間ごと



#### 注意

汚れがひどくなると、出力低下や始動不良などを起こす原因となりますので、ホコリの多い場所で使用した時は早めに清掃してください。また、必要場合は交換をしてください。

1. メンテナンスカバーのボルト（1）を外します。
2. メンテナンスカバー（2）を外します。
3. エアークリーナーカバーのボルト（3）を外します。
4. 専用の洗浄剤でエアークリーナーエレメント（5）を洗浄して、乾燥させます。
5. エアークリーナーエレメントに給油し、エアークリーナーエレメントから油が落ちない程度に余分な油を絞ります。
6. エアークリーナーエレメントをエアークリーナーケース（6）に差し込みます。



#### 注意

- エレメントをしぼる際には水滴が垂れなくなるまで軽く握る程度で、強い力で振らないでください。エレメントが破損します。
- エアークリーナーエレメントはエアークリーナーケース内にしっかり取り付けて空気漏れが無いようにしてください。またエアークリーナーエレメントを取り付けずに発電機を運転することは絶対にお止めください。エンジン内部にあるピストンやシリンダーが損傷するおそれがあります。

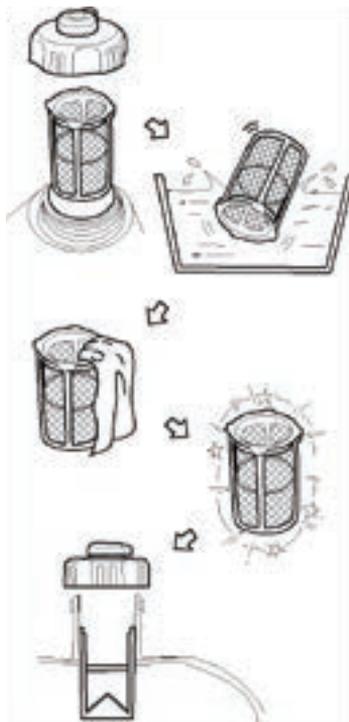
#### (4) 燃料タンクフィルターの清掃



#### 警告

燃料タンクフィルターをメンテナンスする時には絶対に火気を近づけないようにしてください。

1. 燃料タンクキャップと燃料タンクフィルターを取り外します。
2. 燃料タンクフィルターをガソリンで洗浄します。
3. 洗浄した燃料タンクフィルターをよく乾かしてから元の位置に取り付けます。
4. 燃料タンクキャップを元の位置に取り付けます。しっかりと取り付けられているかよく確認してください。



## 8. 発電機の輸送・保管（長期保管）

- 発電機を輸送する際や保管する場合は必ず燃料を抜いてください。
- 発電機は燃料コック及びエンジンスイッチをオフにした状態で通常使用時と同じ姿勢で輸送/保管します。
- 輸送する車両内で発電機を絶対に使用しないこと。発電機を使用する際には発電機を車両から降ろして換気の良い場所で使用するようになしてください。
- 車両内で発電機に直射日光が当たらないように注意してください。また、夏場など直射日光が車両に当たる状態で発電機を長時間車両内に保管したままにすると車内が高温になり発電機の気化した燃料による爆発事故が発生するおそれがありますので十分に注意してください。

本機を 30 日以上使用しないときは、次の手順に従って整備を行ってください。

### 1. 燃料排出

- ①. 燃料タンク内の燃料を、全て給油口より抜き専用容器に移します。
- ②. メンテナンスカバーを外して、キャブレター下部の燃料ドレンボルトを緩めガソリンを適当な容器に出します。
- ③. エンジンスイッチを「ON」にします。
- ④. リコイルスターターハンドルを3～4回引き、キャブレターのドレンホースから、ガソリンがでなくなる事を確認します。
- ⑤. キャブレターのドレンボルトを締めます。

### 2. エンジンオイル交換

- ①. エンジンスイッチを「OFF」にします。
- ②. エンジンオイルを交換します。(P20 参照)

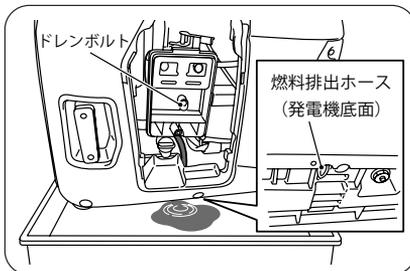
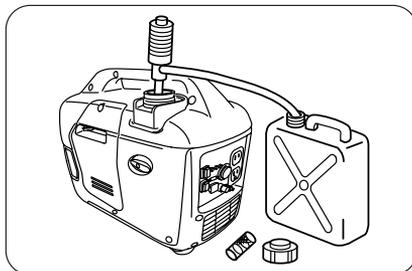
### 3. エンジンメンテナンス

- ①. 点火プラグを外し、その穴からエンジンオイルを約 15ml 注入します。
- ②. リコイルスターターハンドルをゆっくり数回引きます。
- ③. 点火プラグを取り付けます。
- ④. リコイルスターターハンドルを重たくなるまでゆっくり引き、元に戻します。

### 4. 保管・清掃

- ①. エアークリーナを清掃します。
- ②. 各部を清掃し、湿気、ホコリの少ない場所にカバーなどをかけて保管します。

※非常用電源等の用途で常時使用しない場合は 1 ヶ月に 1 度、約 10 分位電気器具を接続して試運転を行ってください。



## 9. 故障時の対応

本機が故障と思われる際は、次の表に従って点検してください。

点検しても正常にならないときは、お求めの販売店またはパワーテックに修理を申し付けてください。

### ⚠ 危険

#### 感電

- 本機や体が濡れている時は、運転しないでください。
- 必ずエンジンを停止して行ってください。

### ⚠ 注意

#### けが

- 必ずエンジンを停止して下さい。

### ⚠ 注意

#### 火災、やけど

- 絶対に火気に近づけないでください。
- エンジンの停止直後は、エンジンやマフラーが高温になっていますので、エンジンが冷えてから行ってください。

### ■ エンジンが始動しない

考えられる原因	処置
エンジンスイッチ「OFF」	————→ エンジンスイッチを「ON」(P15 参照)
燃料コック「OFF」	————→ 燃料コックを「ON」(P15 参照)
燃料の不足	————→ 燃料を給油する (P14 参照)
燃料に水やゴミが混入	————→ 燃料タンクの水抜きと清掃
オイル警告灯点灯	————→ オイルを給油する (P12 参照)
点火プラグキャップのゆるみ	————→ キャップを押し込む
点火プラグの汚れ	————→ 点火プラグの清掃 (P21 参照)
チョークレバーの位置調整	————→ 適切な位置 (P15 参照)

### ■ エンジンがすぐ停止する

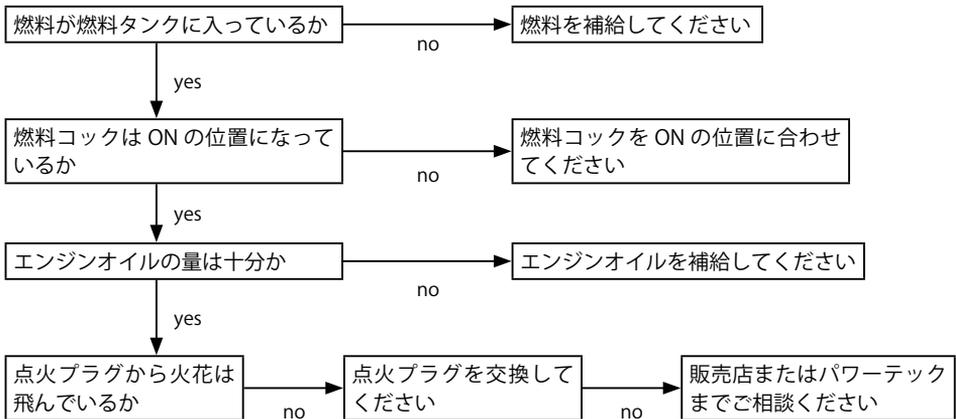
考えられる原因	処置
オイルセンサー作動	————→ オイルを給油する (P12 参照)

### ■ 使用機器が作動しない

考えられる原因	処置
過負荷ランプ「赤」点灯	————→ 過負荷の原因を取り除く

## 10. トラブルシューティング

### 10.1 エンジンが始動しない



#### ■ 点火プラグ点検方法

1. 発電機から点火プラグを取り外して掃除します。
2. 点火プラグをプラグキャップに取り付けます。
3. プラグの電極部をエンジンの金属部分に押し当てます。
4. エンジンスイッチを ON にしてリコイルスターターを引いて点火プラグから火花が飛ぶかどうか確認します。

#### ■ 燃料確認

1. 燃料コックを OFF の位置に合わせてキャブレタードレンネジを弛めます。
2. 燃料コックを ON の位置に合わせてみて燃料がキャブレタードレンホースから出てくるかを確認します。



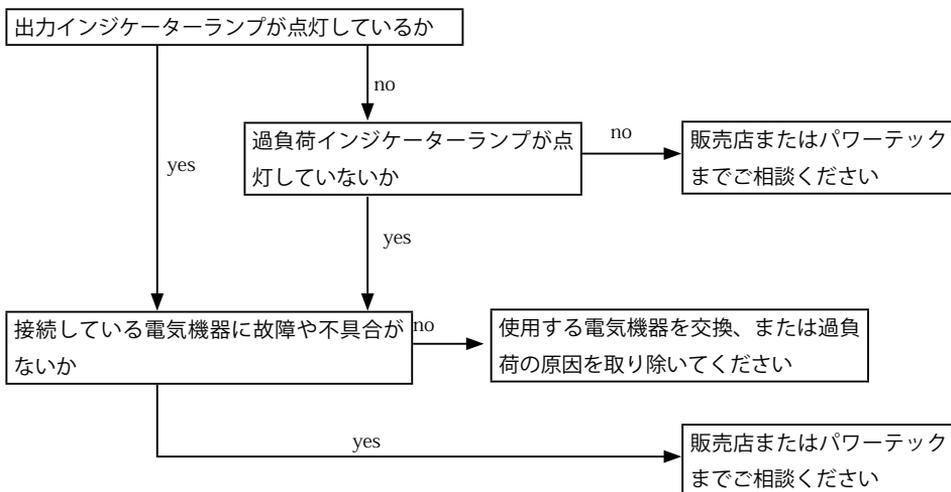
#### 注意

本体側面にあるドレンホースから燃料が漏れてエンジンが停止してしまう場合は異物混入によるキャブレターの不調が考えられます。

その場合は「P24 1. 燃料排出」を参照して一旦キャブレターからガソリンを抜いた後に改めて発電機を再始動してみてください。

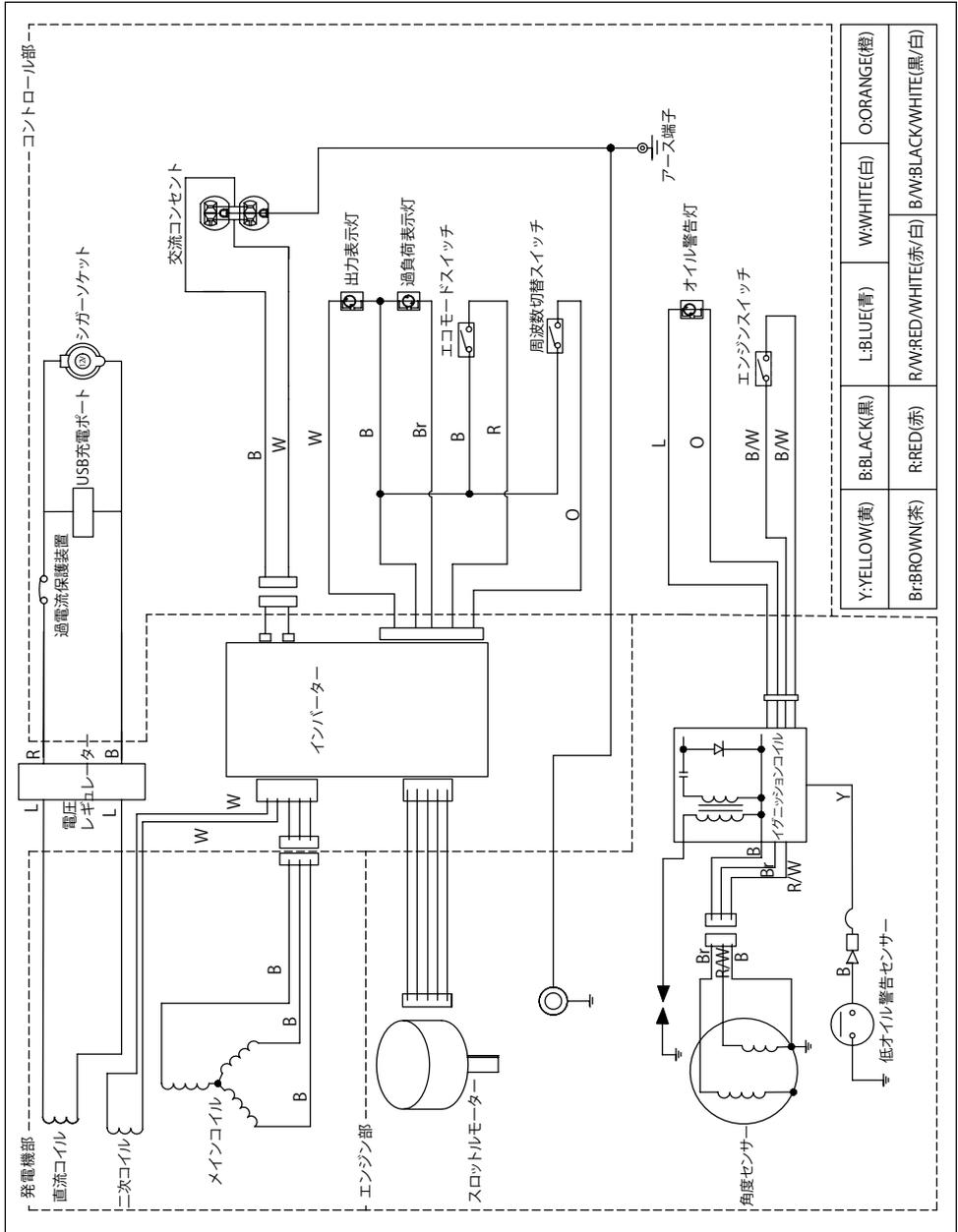
キャブレターからガソリンを抜いたにも関わらず発電機の再始動に失敗する場合は販売店またはパワーテックまでご相談ください。

## 10.2 発電機に接続した電気機器が使用できない



# 11. 電気配線図

50/60Hz、100V



## 12. お問い合わせ窓口

### 12.1 お客様お問い合わせ窓口のご案内

お買い上げいただきました製品についてのお問い合わせ・ご相談・修理依頼は下記の窓口までお願いいたします。

なお、修理依頼される場合は依頼される前に本書に掲載されているトラブルシューティングを参考に点検し、不具合が解消されない場合に修理を依頼してください。

#### ①お電話からの場合

パワーテックサービスセンター (0959-29-5111) までお電話いただき、オペレーターに必要事項をお伝えください。(その際に故障内容をなるべく詳しくお伝えくださるようお願いいたします。)  
※受付時間：10時～15時(土日祝除く)

#### ②インターネットからの場合

パワーテックホームページ (<http://power-tech.jp>) にアクセスし、お問い合わせメニューから引取修理サービスを選び必要事項を記入のうえ、送信してください。

#### 修理依頼時の手順

※保証期間内(購入後1年以内、保証書あり)の場合

1.) 上記の手順で修理依頼をした後、不具合品と一緒に「保証書」を添えてお買い求めの販売店へお持ち込みください。引取修理サービスをご利用の場合はパワーテックが引取便を手配いたしますので、不具合品を梱包のうえ、「保証書」を中に入れて引取便のドライバーにお渡しください。

2.) 弊社サービスセンターにて確認後、要修理品については修理、修理不可能品は代替品にて対応させていただきます、お客様にご返送いたします。

保証期間内でも保証適用除外事項による故障は有償となります、その際は弊社からご連絡さしあげます。

※保証期間外(保証期間後、もしくは保証書なし)の場合

1. 一度お電話、メール等でご相談ください。
2. 不具合品をお買い求めの販売店へお持ち込みください。引取修理サービスをご利用の場合はパワーテックが引取便を手配いたしますので、不具合品を梱包のうえ、引取便のドライバーにお渡しください。
3. 弊社サービスセンターにて修理させていただきます、お客様に運送会社代金引換にてご返送いたします。通常修理の場合2～3営業日にて修理を完了し、お客様にご返送いたします。

#### 【個人情報のお取り扱いについて】

当社では個人情報保護ポリシーを制定し、お客様の個人情報保護に努めております。お客様からご提供いただく情報に含まれるお客様の個人情報はお客様への連絡やお問い合わせにお答えするために取得し、他の目的に利用することはありません。また、お客様の承諾無く第三者へ個人情報を提供することはありません。個人情報に関するお問い合わせやご相談がある場合はパワーテックサービスセンター 0959-29-5111 までご連絡ください。

# MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

## 12.2 保証内容

### 1. 保証内容

本製品に万が一不具合が発生した場合、この保証書に示す期間及び条件に従い無償にて修理させていただきます。

### 2. 保証期間

保証期間はご購入日から1年間とします。(保証適用除外事項は除く)

ただし、レンタル・リース業等不特定多数の者に使用される発電機についてはご購入日より6ヶ月とします。

なお、修理による交換部品及び修理部品に関しては交換及び修理日から90日間、または本体の残余保証期間のいずれか長い方とさせていただきます。

### 3. 保証適用除外事項

※以下に示す事項につきましては保証の適用外とさせていただきます。

- ①. 保守・整備の不良、手順違いなどによる不具合
- ②. 弊社が認めていない改造による不具合
- ③. 弊社の指定する以外の部品、材料、油脂類、その他の使用による不具合
- ④. 火災、天災、事故などによる不具合
- ⑤. 落下、衝撃、転倒、浸水などによる不具合
- ⑥. 取扱説明書により禁止されている、もしくは記載されていない行為による不具合
- ⑦. 消耗品、油脂類、バッテリー（搭載機種のみ）及びそれらの交換・補充にかかる費用
- ⑧. 弊社サービスセンター、もしくは弊社指定の修理工場以外で修理された場合
- ⑨. サービスセンター、弊社指定の修理工場で自然故障と認められない場合
- ⑩. ご購入時に販売店による保証書への必要事項への記入及び捺印が無い場合
- ⑪. 保証書を紛失された場合、もしくはご呈示いただけない場合
- ⑫. 煤煙、薬品、オイル、酸性雨、石はね、鉄粉、降灰、塩分などの外部要因による不具合
- ⑬. 点検、定期点検、整備、定期交換部品の交換、調整、清掃
- ⑭. 使用に影響しない感覚的現象（振動、音等）
- ⑮. 経時変化や使用によって発生する現象（塗装、樹脂部品の自然退色、錆、腐食など）
- ⑯. 洋上での使用（塩水または塩風の影響）による不具合
- ⑰. 弊社が示す仕様（エンジン定格最大回転数・定格出力等）の限度を超えるなど過度の使用状況が本体に見られた場合による不具合。
- ⑱. 構成部品等の破損、もしくは故障をしたままの使用による不具合
- ⑲. 本体への異物混入（水分、砂または泥埃等）が原因となる不具合

### 4. 付随的損害

本製品の起因による付随的損害（使用機器の故障、発電機の停電による事故、不具合など）については補償できませんのでご了承ください。

また、発電機を使用できなかったことによる損失等（休業補償、営業損失）についても保証適用外とさせていただきます。

### 5. 保証の発効

この保証書はご購入いただいたお客様と販売店による必要事項の記入、捺印にて有効となります。

### 6. 保証の適用

この保証書は株式会社パワーテックが日本国内で販売する発電機を日本国内で使用する場合にのみ適用されます。パワーテックが販売していない商品や国外で使用された商品は保証の適用外となります。

# POWERTECH 発電機

## 保証書

本保証書と本製品のシリアルナンバーが同じか確認してください。

製品形式	PG1100is
シリアルナンバー	
ご購入年月日	年 月 日
保証期間	ご購入日より1年間（レンタル・リース業者は6か月）
販売店	

お買い上げの際に販売店様に購入年月日と販売印を記入・捺印もしくは販売証明書（レシート）をいただき、本保証書と一緒に大切に保管してください。

（本保証書は再発行いたしません）

保証に関する詳細については本書に記載されている保証内容をご参照ください。

### お客様お問い合わせ・修理窓口のご案内

(株)パワーテックサービスセンター

〒 851-3305 長崎県西海市西彼町喰場郷 938-7

電話 0959-29-5111

FAX 0959-29-5566

E-mail info@power-tech.jp

電話受付時間 10:00 ~ 15:00

※土曜、日曜、祝祭日、パワーテックが定める休日は休業日とさせていただきます。

**POWERTECH Inc.**

**株式会社パワーテック**

<http://power-tech.jp>

2024.01 ver1.0